

お知らせ

すいれん 秋祭

2019年11月3日(日)
11時30分～14時00分ごろ

- ステージ企画
- 模擬店・手づくり市
- 作品展覧会

など、楽しいイベントを予定しています
※雨天時は中止になる場合があります

お問い合わせは「すいれん」まで
電話：077-581-4606 担当：山瀬・吉田



土曜講座のご案内

我が人生の最終章 らいふデザイン講座

受講生募集中《3回シリーズ》

- ①10月19日(土) 医療・介護サービスの賢い使い方
講師：松本修一氏
滋賀県立総合病院 家族支援専門看護師
- ②10月27日(日) 人生の最終段階までの賢いお金の使い方
講師：江畑行雄氏
江畑ライフサポート社労士事務所 ファイナンシャルプランナー
- ③11月2日(土) エンディングノートの賢い活用法
講師：山田登喜子 ゆうらいふケアマネジャー

参加無料・1回のみ参加もできます
会場：すいれん(守山市川田町)

人事紹介 異動・採用 9月16日付(一部、9月1日付)

- グループホームすいれん 副所長 増山 裕喜子
- リハビリサポートすいれん 副所長 劔熊 恵亮
- グループホームすいれん 主任 井上 礼子
- リハビリサポートすいれん 主任 土田 知美
- リハビリサポートすいれん 介護職 松浦 由美
- リハビリサポートゆうらいふ 主任 小西 沙希
- (総合事業)リハビリサポートゆうらいふ 管理者 岡田 祐里佳
- リハビリサポートゆうらいふ 機能訓練指導員 武田 美津子
- リハビリサポートゆうらいふ 介護職 遠塚 ルミ子
- リハビリサポートゆうらいふ/すいれん 看護師 川本 由佳
- 小規模多機能 花梨 介護職 吉村 公美子
- 小規模多機能 花梨 介護職 奥村 修平
- ヘルパーステーション 介護職 風早 まゆみ

ゆうらいふ

専門職によるコラムコーナー

プロフェッショナル リレーコラム

Vol.5

介護福祉士

よしむら くみこ

吉村 公美子



リハビリサポートゆうらいふでは、歌や踊りのレクリエーション、ランチ会や季節の行事など、毎日様々な活動を行っています。最初は、行事の多さに戸惑いましたが、だんだん楽しめるようになりました。きっかけとなったのは、ボランティアさんと一緒にさせていただいた「どじょうすくい」です。それまで特技という特技のない私でしたが、見よう見まねで無我夢中に踊っていたら、これが大好評！大笑いして楽しくいただきました。踊り終える頃には汗だくになり、運動不足の解消・ストレス発散にもなります。9月16日より、花梨へ異動しましたが、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。



バトンを渡した人：飯島裕子さん(介護福祉士)2019年7月号登場

編集後記

『2020』と聞いて何を思い浮かべますか？
——もちろん「東京オリパラ」ですね！
今回のオリンピック・パラリンピックでは「五輪」の略称に替わり、「オリパラ」の略称が広がりつつあるそうです。パラリンピックの観戦チケットの売れ行きを見ると、若い人の方が関心が高いそうです。勝っても負けても、自分に向き合い、戦い抜いた選手の涙に勇気をもらいます。



特定非営利活動法人ゆうらいふ

事務局

守山市立田町 1231-4

TEL: 077-585-4070

【Web】http://www.youlife.ne.jp

【メール】info@youlife.ne.jp

お気軽に
お電話
ください

ゆうらいふ ● 居宅支援事業所 ● デイサービス ● 総合事業 ● 事務局

〒524-0214 守山市立田町 1231-4 ☎077-585-4070

すいれん ● グループホーム ● デイサービス ● 保育所

〒524-0001 守山市川田町 1541-4 ☎077-581-4606

かりん ● 小規模多機能型居宅介護事業所 ● グループホーム ● 事業所内保育所(認可)

〒524-0214 守山市立田町 4135-1 ☎077-599-0531

● ナースステーション ● ヘルパーステーション ● 定期巡回・随時訪問型訪問介護看護

銀座 ● 居宅支援事業所

(2月開所) 〒524-0021 守山市守山1丁目6-3 ☎077-583-8100

ゆうらいふ通信

2019年10月発行

保育所すいれんの庭から稲刈りを見る子どもたち



秋、秋、空を見上げるとすじ雲もそよそよと吹く風も心地良く、虫の音もさわやか天高く馬肥える秋、梨、栗、さつまいも、食欲そそる季節です。一方で季節の魚、さんま美味しいですね。ゆうらいふの皆さん、十月は運動会があります。身体を動かし、美味しい食事を満喫しましょう。

文：坂井 喜代造 様



トピックス

ゆうらいふの取り組みや、各事業所の活動、介護の情報など配信中です！



Find us on
Facebook

- 秋期号のごあいさつ
- リハビリサポートゆうらいふの取り組み
- 秋のゆうらいふトピックス
- 人事紹介
- コラムコーナー「プロフェッショナル」など

秋期号のごあいさつ

理事長 山田 亘宏

早くも 10 月を迎え、今年も余すところ3ヶ月となりました。私もこの9月には 73 歳を迎え、時間の過ぎ去る早さに呆然としています。一説によると、65 歳くらいに大きな峠を越し、下り坂を転げ落ちるように時間が走るとか！！でも、ゆうらいふの利用者さんからは、「73 歳、若いわねえ」と一蹴されます。90 歳台の皆さんから観るとまだ、はな垂れ小僧なんですネ。

皆さんにお伝えしていること；寿命と健康寿命を限りなく近づけること。特に自分で裾の処理をできなくなるほど味気ないことはないですよ。少しづつ、毎日、体操を続けましょう。

職員と誕生日の記念撮影 ▶



心が動けば身体も動く！ リハビリサポートゆうらいふ

リハビリサポートゆうらいふの方針は自立（自律）支援がベースとなっています。私達の生活と同じで「今日何をしよう」と数ある選択肢を並べ、「これにしよう」と選ぶ、そんな当たり前な事を病気や障害があっても当たり前に行えるよう共に考えています。そして、自分の事を自分で決める事で「心」が動き、「身体」も動きます。

- 元気でいたい
 - 楽しみたい
 - 誰かの役に立ちたい
 - 誰かに喜んでもらいたい
- ・・・等、一人ひとりの気持ちを応援します。

（リハビリサポートゆうらいふ 津田征志）



食後のお茶入れ



得意のマジックを披露



スタッフに代わり体操を先導



夏野菜から冬野菜へ植え替え



スタッフの演劇に大笑い



模写を楽しむ



先生の指導を受け書を楽しむ



仲間と囲碁



楽しくお仕事 ! 職員募集中!!

秋のゆうらいふ トピックス

三日月滋賀県知事が「すいれん」を訪問

9 月 13 日、三日月大造知事がすいれんを訪問し、グループホーム・リハビリサポートすいれんと、保育所すいれんの様子を視察されました。知事の訪問に、利用者様も喜ばれていました。価値観や生活スタイルの多様化の中、滋賀県は高齢者や子ども、誰もが自分らしく生きることのできる共生社会の実現をめざしているとのことで、その一環として地域共生に取り組む「すいれん」の現状を見学していただいたことは大変貴重な機会となりました。この日の昼食は、敬老のお祝い食でしたが、知事も召し上がり、「美味しい」とのお言葉をいただきました。



花梨で子どもピアノ演奏会を開催

子ども達が花梨でピアノの演奏をしてくれました。グループホームすいれんの皆様もお招きして、楽しいひと時を一緒に過ごしました。一生懸命な子ども達の姿を見て、まるでお孫さんを見守るような緊張の面持ちで聞いておられましたが、演奏が終わると表情がほころび、大きな拍手を送られていました。終了後は、グループホームすいれんのみなさんと一緒におやつを食べて、交流を図りました。



（花梨 若山 晃）

河西いちご園へ出かけました

花梨の近くにある河西いちご園に行ってきました。いちご牛乳ソフトクリームや濃厚かき氷ののぼりを見て、いつか行きたいなぁと思っていましたが、念願叶ってやっとなることができました。甘くておいしいソフトクリームを食べて笑顔、いちごのかわいいイラストから顔を出して笑顔。みなさまの素敵な笑顔をたくさん見る事ができました。



（花梨 若山 晃）

保育所すいれんで不審者訓練を行いました

9 月 16 日、河西交番の方に来ていただき、不審者訓練を実施しました。警察官が不審者役をしてくださり、緊迫する雰囲気の中、保育所職員が不審者役に実際に向かっていきました。一番大切なことは、まずは子どもを安全な場所に避難させること。園庭では広い場所で子どもたちが遊んでいるので、いかに素早く、的確な判断を行うことが大切かということを感じました。敷地内にあるグループホームやデイの職員と連携をとり、共通に認識をもって対応できる協力体制づくりに努めてまいります。（保育所すいれん 平井周子）



在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク第 25 回全国の集い in 東京 2019 地域医療研究会 全国大会 in 東京 2019 合同大会に参加して！

9 月 15～16 日、池袋の帝京平成大学で、病院医師・在宅診療所の医師が中心となり、看護師や PT/OT・薬剤師・介護職など多くの専門職が集まり、「みんなで作る地域包括ケア」をテーマに全国大会が盛大に開催されました。実践交流会では、9 つのカテゴリーに分かれ、それぞれの職種・立場から、全国各地で実践されている様々な取り組みの発表がありました。私は昨年のフォローアップとして、「緩和ケアと看取り」カテゴリーで、『終の住処』を考える意思決定支援～人生の最終章を、本人の思いを汲み家族・多職種で考える～』を演題に、本人・家族の心の揺れに寄り添い、よりよく生きるために多職種で何度も話し合うプロセスの重要性について発表させていただきました。

少子高齢化・人口減少が進む中、医療と介護がどう連携しこの危機的状況を乗り越えていくのかを、色々な視点からのシンポジウムに参加し学ばせて頂きました。医療機関や施設が地域の特性を理解し、その役割や立ち位置を認識し、協力していくことが重要であると改めて感じ、実践を通して職員に伝え、より良いサービスの提供を心掛けていきたいと思っています。（ケアマネジャー 深田知洋江）

